

令和5年度地域おこし学校
こうちみませ楽舎「プレミアムクラス」
第3回レポート (8/30)



皆さん、こんにちは。今回は、こうちみませ楽舎プレミアムクラス第3回「実践者から学ぶ！先進事例からの気づき」のレポートになります。

今回はオンライン講演会を開催。先進事例をもとに、地域活性について受講生のみならず、昨年の受講生で現在、こうちみませ楽舎の企画・運営に携わる、地域おこし協力隊も参加しました。

講師は、北海道岩見沢市で活動している合同会社 希楽（きらく）の遠田悠也さんです。

遠田さんは、2019年に学生団体を創立し、さまざまな職種の方を巻き込んで、お祭りを復活させた立役者です。実践例を聞き、受講生自らの解決策に肉付けをする、貴重な時間です。



それでは遠田さんの講演「誰が地方を変えるのか。『よそ者、若者、バカ者』？地域にいる人？」の始まりです。

まずは遠田さんから「チャット機能を使ってみましょう。今いる場所と本日の最高気温を、チャットを使って教えてください！」すぐに反応してチャットで答える受講生たち。

「30度ですか、高知は暑いですね！」などの会話が始まり、すごく受講生と距離が近づいたような感じがしました。さすが遠田さん！人の気持ちをつかむのが上手です！

距離が縮まったところで、遠田さんの活動内容について「ヒトツナギ」「岩見沢ねぶた祭」「岩見沢まちづくりコンソーシアム」の3つを紹介していただきました。遠田さんが学生時代に設立し、今年で5年目を迎えた団体「ヒトツナギ」では、設立した当時の想いや熱意を語っていただきました。学生が様々な地域に関わりを持ち、地域の価値を再発見し、地域の中で人の動きを生み出すことを目標に活動しており、現在は「大学がある地

方のまちでまちおこしができないものか…」といった地方の悩みに応えるために、学生時代に人を繋いできた経験を活かし、学生とまちを繋げる役割を担っているそうです。

「岩見沢ねぶた祭」では、学生が中心となり”岩見沢の未来に明かりを灯す”ことを目的として活動をしており、補助金や協賛金、クラウドファンディング等、開催に必要な費用は学生が全て準備をしているとのことでした。受講生のみなさんにもやりたいことを実現するために、参考となるアイデアがいくつかあったのではないのでしょうか。

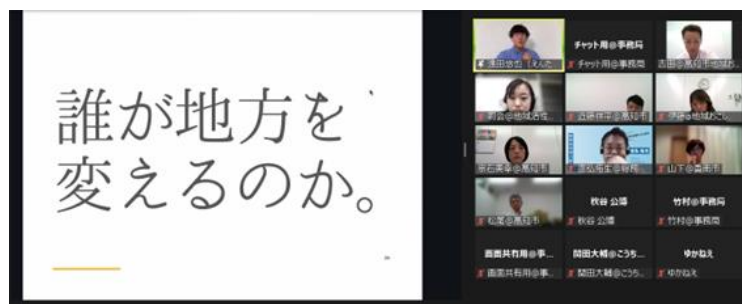
今年立ち上げたまちづくり団体「岩見沢まちづくりコンソーシアム」では、商店街にコワーキングスペースを設けて、誰でも立ち寄ることができ、誰でもまちづくりに参加できることを目的に活動をしています。



遠田さんの活動紹介後は、本題でもある「誰が地方を変えるのか」という話。まずは受講生に「地方を変える人間は誰だと思いますか？」と問いかけます。「『地域の内外の人が力を合わせることで変えていく』言葉では簡単に言えます。しかし、それを行動にするのが難しい…。『大学を出たばかりのくせに』『昔からいる人ではない』『移住者にはわからない』など、どのまちにもそれぞれズレが生じているのが現状です。そういった現状を変えるには『突破するしかない！』。地域がそういった人たちを受け入れることができれば、地方を変えられるのではないか。」と話します。

なるほど！そういった行動を怖がらずにできるのが、タイトルにもなっている「よそ者、若者、ばか者」に繋がるんですね。

遠田さんも友人と「ねぶた祭をやりたい」と行動を起こして、さまざまな人を”まちおこし”に巻き込んでいました。”まちおこし”をするには、地域外の人突破する勇氣、地域内の人受け入れる勇氣、それぞれが行動を起こすことでまちに変化が生まれるのではないかと思います。



後半は、主任講師である吉弘さんと遠田さんの質疑応答を含めたトークセッションです。受講生からどんな質問が出てくるのか二人もわくわくしていました。

すると、早速「ねぶた祭をきっかけに地域の人たちが盛り上げようとする動きは出てきましたか？」と受講生から質問が！「ねぶた作り」や「ねぶたの歴史」を学ぶために小中学校に出前講座を行うようになり、また、「高校生以下の子どもに提灯を 500 個作ってもらい商店街に飾るといったことで、まちに活気が出てきましたね。」と話してくれました。子どもに関わってもらうことで、全国的に問題となっている、後継者・担い手不足対策に繋がってくれることができればいいですね。



その他にもたくさん質問が出ましたが、今回のレポートはここまでとなります。

遠田さんから今後の活動のアドバイスとして、「無理をしない！」と受講生へメッセージ。「無理をして何かやり遂げても『辛かった』『しんどかった』と、自分も辛いし、継続をできなければ信頼も失ってしまうので『無理をしない！』ことは忘れずにいて欲しいです」と話します。私たちも受講生のみなさんと一緒に伴走するので、共に頑張りましょう♪

次回は、自分の想いを他の受講生と共有する回になります。それでは次回にまたお会いしましょう。